

羽村市議会議員

鈴木たくや 議会/活動報告

No. 6
2008. 10. 15

日本共産党

すずたくだより



事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450
ブログ <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール suztaku@ab.cyberhome.ne.jp

9月議会
決算委員会

税金は大型開発でなく 暮らし助ける仕事にこそ



みなさんこんにちは。共産党の鈴木たくやです。

9月議会では、去年1年間の税金の使い方をチェックする「決算の審査」をおこないました。

私は、羽村駅西口区画整理に2億円を使う一方で、増税をおこない、生活保護世帯への補助金を削った市政のありかたを批判し、さらなる市民サービスの充実へ税金をまわす提案をおこないました。



羽村駅西口開発は見直しを

昨年度は税金投入を2億円、借金を約9千万円しました。今後さらに経費がふくらみます。多くの市民の反対をおしきっての税金投入は、やめるべきです。



このお金をまわせば、
さまざまな暮らし助け
る仕事ができます！

○中学校学習サポーター設置を

中学校に入り勉強が難しくなり、思春期も迎えます。子どもを支える学習サポーターがぜひ必要です。

○生活保護世帯への上下水道補助金などの復活を

「生活保護の人よりも大変な人がいるから」という理屈で助成金がカットに。低すぎる賃金や年金の方こそ問題です。

※ ○認証保育園に通う子どもへの 助成金創設を

認可保育園とくらべて保護者負担は2.7倍にもなります。瑞穂や福生では差額を補助する制度を始めています。

裏へ
つづく

○中学3年生まで医療費無料化に

23区の多くですでに実施されています。子どもの病院ぐらいは、財布の心配なく行けるようすべきではないでしょうか。



○高齢者住宅の浴槽を入浴しやすいものに改善を

民間のアパートを高齢者住宅として市が借り上げています。浴槽は一般向けのままで、段差をまたぐのも一苦労です。

○高齢者配食サービスをもっと安く利用できるように

一食700円かかります。西多摩の中で最も高いお弁当になっています。

○私道への街路灯設置費補助を

防犯対策などに街灯の設置はなくてはならないものです。「市の道ではないから…」

と市は言いますが、道はつながって多くの方が利用しています。

○江戸街道公園のトイレを水洗に

くみ取りトイレが残されています。衛生面からも早期に水洗化が必要です。

○夏休み中の学童クラブと学校の行き帰りは大人のつきそいを

子どもを標的にしたひどい事件が起きています。学童クラブへ子どもあずけた後は、市の責任で安全を確保すべきです。

…などなど様々な市民の声をこそ実現すべきと提案しました。実現にむけて頑張ります。



9月議会 一般質問

論戦ハイライト



「一般質問」は、議員が一人づつ、市長・部長と論戦をします。時間は1時間まで、テーマは何でもOKです。今回私は3つのテーマについて、持ち時間いっぱい質問をおこないました。

質問① 小中一貫教育校について問う

- 小学校と中学校を統合して9年間の学校をつくるという計画について、前回にひきつづき、質問しました。
- 教育委員会はその目的を、学力を上げる、不登校をなくす、という点にあると言っています。
- しかし、現場の先生方から集めたアンケートは全く違う答えとなっています。(右参照)
- 教育委員会と現場の先生の意見は完全に食い違っています。それを指摘し、質問しました。

羽村市教員アンケートより (市内小中学校の先生 140人が回答)

Q. 小中一貫校で学力が向上すると思いますか？

あまり・まったく思わない…79%
とても・少し思う …11%

Q. 小中一貫校で不登校が減ると思いますか？

あまり・まったく思わない…85%
とても・少し思う …4%

Q. 教育の向上のため市に望むことは？

①30人学級の実現79%、②書類の簡素化72%、③2学期制の再検討70% (トップ3)

鈴木 日々子どもと接し、成長の喜びも悩みも、子ども達とともにある現場の先生の声をきちんと受け止め、「小中一貫教育校構想」は本能的に見直す必要があると考えます。

教育長 アンケート結果を見ますと、中間報告の内容が十分に理解されていない面が感じられるため、今後、十分な説明が必要と考えております。

鈴木 「これから理解をしてもらう」というんですけれども、かりに先生方の声あまり変わらなかった場合は、小中一貫はできないと思うんですけれども、それでもやるおつもりですか？

教育長 教職員のみなさんのご意見というのは尊重しなければならない、これは当然です。

鈴木 (教職員アンケートでは) 2学期制の再検討を求める声が70%です。市は2学期制の再検討をおこなうべきではありませんか？

教育長 保護者や学校現場の声を聞き、これまでの成果を生かし、2学期制をよりよいものにしていきたいと考えております。

「教育委員会が一度決めたことは変わらない」とならないよう、市民の声を議会にとどけていきます。



質問② 学童クラブの充実と放課後子どもプランについて

●小学生が放課後を過ごす学童クラブ。「保育園に行っているときは安心だったが、小学校に入ったら、仕事めいっぱいできない」との声があります。学童クラブの整備がすすんでいないことがその大きな原因です。

●学童クラブの充実と、放課後の学校に遊び場をつくるという「放課後子どもプラン」について質問しました。

鈴木 開所時間の延長について父母の要望が大きい。実現すべきでは？

市長 開所時間の延長について、今後、実施にむけて検討していきたいと考えております。

鈴木 障害をもつ子どもの受け入れ年齢を拡大して欲しいとの強い要望がある。実施すべきでは？

市長 児童の体力の差もあり、指導員の受け入れ体制などの課題もありますので、当面は現在の体制で実施していきたいと考えております。

鈴木 担当課をこえて、障害をもつ子どもが放課後安全にすごせるよう対応していただきたい。

鈴木 待機児が毎年生まれていること、大規模化している学童クラブがあることを解消するために、学童クラブの増設を実現すべきでは？

市長 職員で構成する検討委員会で検討をつけております。この結果を待って決定します。





8/22市内
上空をひ
どい騒音
で飛ぶ米
軍機

質問③ 米軍横田基地の問題について問う

- 横田基地のヘリコプターや飛行機が不時着や、物を落下させるという事故を繰り返しています。
- また、自衛隊の基地を横田基地内につくる工事がすすんでおり、土が基地外に大量に運び出されています。過去に燃料漏れが多発していたことが明らかになっており、危険な物質が山を汚染するようなことがないかどうか、不安があります。
- これらのことについて、市が市民の安全を守る立場で毅然と対応することを求めました。

横田基地所属機の最近の事件・事故など

- ・07/6/13 ヘリコプターが横浜市へ緊急着陸
- ・07/12/19 ヘリコプターが朝霞市へ予防着陸
- ・08/6/11 ヘリコプターが昭島市へ緊急着陸
- ・08/7/10 ヘリコプターからペットボトルを落下
- ・08/7/14 航空機からアンテナを落下

鈴木 ヘリコプターや航空機からさまざまなものが落ちてきたり、通常はありえないことが続ておきている。一步間違えば、大変な事故につながる危険があった。

(再発防止の要請に対する)横田基地からの回答は十分なものだったとお考えでしょうか。

企画部長 今後起こらなければ十分なものだった、起こるようなものであれば回答は十分ではなかったと(思います)。

鈴木 何か、ひとごとのような話です。万が一いちでも起こらないように、(市には)きびしくやっていただかなければいけないと思います。

178名参加

小中一貫校の説明会で「なぜ一貫校に?」「2学期制もどして!」の声あげられる

●9月17日に、3中の多目的ホールで開かれた小中一貫校の説明会には、平日の3時という時刻にもかかわらず、武蔵野小・3中の先生と保護者が会場いっぱい参加しました。

●時間のほとんどをつかい教育委員会が説明しましたが、「なぜ一貫校にするのか目的がわからない」「学力が伸びないというのなら、2学期制を見直すことが先ではないのか」など参加者からきびしい声があげられました。



●教育委員会は説明会をひきつづきおこなうことを言明せざるをえませんでした。

後期高齢者医療制度—国民の声に押され、保険料の引き下げが実施

●「現代のうばすて山」といわれる後期高齢者医療制度。国民的な怒りの声が政治をうごかし、10月から所得の低い人の保険料が軽減されることになりました。

●ただし、この制度は2年毎に保険料を見なおす仕組みになっており、あれよあれよという間に保険料は値上げされてしまいます。

●年齢で医療を差別するという考え方の根本がおかしいのですから、制度を廃止し、より良い制度にきりかえるため、頑張ります。



ご意見・ご要望などぜひお寄せください。
(080-1058-9450)